

「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成30年8月6日(月)発行

目次

- 1 頑張る農林漁業者の取組紹介
- 2 会津農林事務所の取組紹介
- 3 今後の行事(イベント)等



「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動」会津地方かわら版について

会津地方推進本部では、新生ふくしまの『食』と『ふるさと』の実現に向け、農林業者、県民、関係機関・団体が一体となり、様々な運動を展開しています。会津地方の農林業者の取組や、各部・所の取組、各種研修・イベント等の情報を発信するため、会津地方かわら版を発行しています。

頑張る農林漁業者の取組紹介

林野庁長官賞受賞 「株式会社 齋藤桐材店」(会津若松市)

平成30年6月30日(土)、公益社団法人「大日本山林会」が主催する、第57回農林水産祭参加「平成30年度全国林業経営推奨行事」において、会津若松市の「株式会社 齋藤桐材店」の林野庁長官賞受賞が決定されました。今回の行事には、全国から各都道府県の審査を経た個人や会社、団体等29名の参加がありました。

齋藤桐材店は、会津を代表する特産品である会津桐を約12haの畑を造成して栽培し、桐材や桐製品の生産までを自社で行う一貫体制を確立してきました。会津桐の特長である緻密で光沢のある木目の美を探求し、独自に乾燥技術を研鑽してきたことにより、会津桐の美しさ・良さが再認識され、様々な業界分野から問合せがあり、企業との新製品の共同開発も進められるなど、会津桐の用途拡大に寄与しています。

なお、表彰式は今秋11月8日(木)に東京都で行われます。



桐板材の天然乾燥



会津桐と齋藤氏

会津農林事務所の取組紹介

○ 農作業安全研修会を開催しました



平成30年7月6日(金)、猪苗代町「学びいな」において、農業振興普及部主催により、管内認定農業者等を対象としたトラクター等に関する農作業安全研修会を開催しました。

農作業事故は、国内10万人当たりの死亡事故において、交通事故の5倍の16.2件(平成28年)発生しているうえ、ここ10年間では増加傾向になっており、その中でも乗用トラクター作業中の転倒が事故原因として高い状況です。

研修会には、農業者など45名が出席し、前半は農業短期大学校の大矢浩司教務主任より、農作業事故発生要因の解析やリスクアセスメントの実践と、農業機械における事故防止対策についての講義を行いました。後半は「ヤンマーアグリジャパン株式会社」の吉田康二課長より、トラクターでの安全操作と事故防止についての講義を受け、屋外でトラクター転倒体験機への搭乗を行いました。転倒事故につながる危険な傾き具合を各人が体験し、参加者は安全な農作業の実践について再確認することができ、実のある研修会になりました。



こまめな水分補給と十分な休息を取り、熱中症に気を付けて農作業を行いましょう！



【農業振興普及部】

○ 「桐の栽培育成研修」と「漆掻き職人育成研修」を開催しています



会津桐で有名な桐材と会津漆器に用いられる生漆は、管内で生産されており、桐材は全国第1位の生産量を誇り、また、生漆についても全国第4位の生産量となっています。

しかしながら、桐生産者の高齢化や材価の低迷、病気の蔓延等による生産意欲の減退などから生産者は激減しています。また、漆掻き職人の高齢化による減少が危惧されています。

このため、県では森林環境税を活用した「木(森)に由来する伝統文化継承事業」において、平成28年度から毎年、「桐の栽培技術者」と「漆掻き職人」の育成研修を開催し、管内ではそれぞれ毎年5名を募集し実施しています。

「桐の栽培育成研修」は、6月11日(月)、7月18日(水)に三島町において開催するとともに、6月28日(木)には国内唯一の桐市場である秋田桐共販市場(秋田県湯沢市)の視察研修を行いました。「漆掻き職人育成研修」は、6月19日(火)、7月26日(木)に喜多方市において座学と実習を実施しました。

今後も、それぞれ2回の研修と先進地の視察研修を行い、会津地方の特産樹の振興を担う人材を育成していくこととしております。



桐の実生ポット苗の植え替え作業



漆の目立作業

【森林林業部】

○ 平成 30 年度第1回フレッシュ農業ガイド講座を開催しました

平成30年7月2日(月)、農業振興普及部主催により、県立会津農林高等学校農業園芸科の2、3年生16名を対象として、「平成30年度第1回フレッシュ農業ガイド講座」を開催しました。これまで「会津伝統野菜」に関する知見を深めてきた本講座ですが、今年度は「GAP」をテーマに掲げ、実際にGAP認証取得に取り組んだ意欲ある経営者との意見交換をとおして、生徒のGAPに関する知識涵養と就農意欲の向上を目指します。

第1回目となる今回は、「GLOBAL G. A. P.」認証を取得した「有限会社すとう農産」の取締役であるボンド亜貴氏から、農場を見学しながらGAPを実践する上でのポイントなどについて講義をいただきました。また、今年、県農業短期大学校を卒業し、4月に同社に入社した鈴木^{のぞみ}希望氏(会津農林高校卒業生)から、農業を職業とすることについての意見交換を行いました。

生徒たちは講座をとおしてGAPについて理解を深め、同校のGAP認証取得がより一層進むものと期待されます。



【農業振興普及部】

○ ふくしまの農育推進事業「田んぼの学校」生き物調査を実施しました

平成30年7月10日(火)、喜多方市立関柴小学校の小学3年生から6年生の児童73名が5月に田植えを体験した学習田近くの農業用排水路周辺において、生き物の調査を行いました。

快晴の中、児童たちは「アクアマリンふくしま」の春本^{よしのり}宜範先生と一緒に採取・観察・分類をして、自然と生き物の関わりについて学びました。用排水路では、ドジョウやヤゴ、カエルなどを捕まえ、児童たちが見たことのない生き物を捕まえた際は、春本先生に熱心に質問する姿が見られました。

先生からは、採取した生き物の生態の説明や、アクアマリンふくしまから持参した珍しい水中生物についての解説がありました。

児童たちからは、「今日、田んぼの学校で生き物調査を行い、様々な生き物に出会ってすごく楽しかった」、「緩やかな流れのところでドジョウやヒルなどが多くいてびっくりしました」などの声がありました。

今後は、児童たちが「農業と農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食と命の大切さ」について、より理解を深めるために、土地改良施設見学や稲刈り、収穫祭を実施していきます。



【農村整備部】

○ 「水稲」と「落花生」の生産面積拡大に向け、先端技術の実証に取り組んでいます！

本年度、喜多方農業普及所では、水稲および落花生の生産面積拡大に向け、生産者の皆さんや関係機関と連携し、先端技術の実証事業に取り組んでいます。

喜多方市塩川町では、水稲の大規模経営体(メガファーム)の育成に向け、田植え時に使用する苗箱の箱数を減らす「密播」の実証や、水田の水管理における省力化のための水田センサーの実証、さらには収穫時に収量や食味等の情報が収集でき、乾燥機とも連動して効率的な作業が可能なコンバイン等の実証により、水稲における播種から刈取、乾燥まで一連の作業における省力・低コスト化について検討を行っています。

また、西会津町では、落花生の産地再生に向け、機械化による省力・軽労化を実証し規模拡大の可能性を探るため、マルチ張り、播種作業が一体的に行える「シーダーテープマルチ播種機」による春作業の省力化、および根切り、掘り取り、土落とし、反転を一体的に行うことが可能な収穫機による収穫作業の省力化の実証を行っています。

これらの実証までの取り組みは秋の収穫まで継続し、成績を取りまとめ、実用化に向け評価を行うこととしております。【喜多方農業普及所】



密苗の移植作業



水田センサーによる水管理



落花生のシーダーテープマルチ播種

○ 7年ぶりに雄国山麓に放牧牛が戻ってきました！

原発事故の影響により、平成23年度途中から利用を中止していた喜多方市塩川町の雄国山麓にある扇ヶ峰牧野では、昨年度、「福島県営農再開支援事業」により約9.5haの牧野の除染(更新)が実施され、放牧利用が可能な状況となったことから、去る6月1日(金)、7年ぶりに放牧が再開されました。

放牧が開始された当日には、組合員、喜多方市、JA、県等の関係者が参集し、開牧式が開催されました。開牧式では冒頭、牧野組合の佐々木組合長が「放牧再開が出来てよかった。元気な牛の姿を発信して風評払拭につなげたい。」と力強く挨拶をされ、開牧を祝って牛乳で乾杯が行われました。その後、組合員4戸からトラックで運ばれた11頭の牛が広々とした牧野に放牧されました。今後、定期的に放牧牛の健康状態を確認しながら、10月末まで放牧が継続されます。

今回の放牧再開が、同地区の畜産振興につながっていくことが期待されます。

【喜多方農業普及所】



放牧再開を祝して、牛乳で乾杯！



大自然を満喫する放牧牛



○ 花育フラワーアレンジメント教室「親子でチャレンジ！ ～あいづの花を入れて花あそび～」を開催しました



平成30年7月16日(月)、道の駅あいづ 湯川・会津坂下において、福島県花き協議会主催の平成30年度花育事業が開催され、60名の親子がフラワーアレンジメントの作成に取り組みました。

この花育は、会津の子供達に地元で生産されている花きとのふれあいを通して、花と緑に親しみ、やさしさや美しさを感じる心の豊かさを醸成することを目的としています。

始めに、会津坂下町の花き生産者である「フラワーファーム sato」の佐藤房枝さんから花生産の現状についてお話を頂き、湯川村のフラワーアーティスト神田和子さんの指導のもと、JA会津よつば洋花部会で生産された花きを中心に、親子が各々の感性でフラワーアレンジメントを作成しました。

イベント終了後のアンケートでは、参加した子供達全員「とても楽しかった」と回答し、保護者からは「地元の花生産を初めて知った」といった回答がありました。

これからも花育活動を通して、花のある豊かな生活の提案と地元の花き生産への理解を広げていきたいと考えています。

【会津坂下農業普及所】



今後の行事(イベント)

○ 第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン



県産農林水産物の消費拡大と地産地消の推進を目的にキャンペーンを実施します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

日 時： 9月1日(土) 11:00～ 試食がなくなり次第終了

場 所： ヨークベニマル門田店

(会津若松市天神町22番11号)

内 容： 会津産夏野菜を使った料理の試食(先着250名様)

アンケート回答者への6次化商品等プレゼント(先着200名様)



○ 奥会津いいもの物産フェア【秋の市】

奥会津の特産品の知名度の向上による販売促進及び観光誘客増につなげるため、奥会津5町村の産品を集めた物産フェアを開催いたします。

奥会津の豊かな自然に恵まれた魅力的な産品を楽しみにご来場ください。

日 時： 9月28日(金)、29(土)、30(日) 10:00～19:00(最終日17:00)

場 所： イオン福島店

(福島市南矢野目字西荒田50-17)

内 容： 加工品・山菜などの試食、金山町赤カボチャ・まこもたけ販売(予定)

山ブドウ細工手づくり体験、只見線沿線クイズ、抽選会など



【企画部】

○ あいづ「道の駅」交流会 スタンプラリーを開催します

会津・南会津の道の駅スタンプラリーを開催します！

対象商品をお買い求めいただくと、お得なサービスを受けられるほか購入スタンプを集めて、駅長セレクトの特産品詰合せなどの素敵な賞品が当たる抽選にご応募ください♪

○開催期間： 8月20日(月)～12月31日(月)

○応募締切： 平成31年1月6日(日) * 当日消印有効

○応募方法： 応募台紙を、郵送または道の駅スタッフにお渡しください。
※応募台紙(冊子)は、スタンプラリー参加駅にも設置しております。



○ 楽しく撮って広めたい！

あいづ“いいもの”フォトコンテスト 写真募集♪



会津・南会津の農林水産加工品に親しみと魅力を感じてもらうため、写真を募集しています。

○募集テーマ： 「素敵！」「美味しい！」「面白い！」「土産品にした！」「使い方・食べ方提案！」など、商品映え(インスタ映え)する写真
例)会津産のお米を使用したお菓子

○応募期間： 8月1日(水)～12月31日(月)

○応募締切： 12月31日(月) * 当日消印有効

○応募方法： ①持参・郵送

チラシ裏面「応募用紙」に写真(L-版程度)貼付

②Instagram

あいづ“いいもの”フォトコンテスト公式アカウント(@aiduiimono)をフォロー後、指定ハッシュタグ「#あいづいいもの2018」を付けて投稿

(キャプションに商品名と購入先の記載をお願いします)

同封のチラシをご覧ください！

【企画部】

【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)

TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389

E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

